

NEWS RELEASE



NEWS RELEASE

2016年10月25日

米国研究製薬工業協会

＜米国研究製薬工業協会(PhRMA)と第39回日本分子生物学会年会が共催＞

『第4回ヤング・サイエンティスト・シンポジウム』を開催

～あなたの研究が世界を変える／基礎と臨床の架け橋 トランスレーショナルリサーチの未来～

米国研究製薬工業協会(PhRMA)は、第39回日本分子生物学会年会との共催により、来る2016年12月1日(木)、パシフィコ横浜 会議センターにおいて、ライフサイエンスにおける若手基礎研究者を対象とした「第4回ヤング・サイエンティスト・シンポジウム」を開催します。

当シンポジウムは、基礎研究に携わる日本人の若手研究者を対象としてPhRMAが実施する人材育成支援プログラム『ヤング・サイエンティスト・プログラム』の一環として実施するものです。PhRMAはシンポジウムに加えて、国内の若手研究者を米国に短期間派遣し、米国における保健医療政策、医薬品研究、規制慣行、トランスレーショナルリサーチ(TR)の最新情報を学ぶ「マンスフィールド-PhRMA研究者プログラム」の実施等、日本におけるTRの活性化をサポートしております。

4回目の開催となる今回は、第39回日本分子生物学会年会のプログラムの一つとして、「ランチョンセミナー」と「フォーラム」の2部構成で実施します。ランチョンセミナーでは、「マンスフィールド-PhRMA研究者プログラム」参加経験者でもある講師により“TRとはそもそもどういうものか”など体験談に基づく解説と、研究者プログラム参加後の意識の変化や、現在のTRに関する取り組みについて発表して頂きます。フォーラムでは、「産・官・学」からパネリストを招き、日本の課題であるTRのシーズ探索から臨床研究、さらには企業への導出の仕組みと実績について紹介し、参加者の皆様を交えたディスカッションを行います。

本会が、自身の研究を異なる視点から見ることで生まれる新たな価値の創造や、創薬への可能性について考えるきっかけとなり、若手基礎研究者の方々の今後のキャリアデザインの参考として頂けることを願っております。

開催概要は、次頁およびウェブサイトよりご確認ください。<http://yss.umin.jp/>

事前告知にご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

尚、ご掲載頂ける際は、お手数ですがその旨ご一報いただきたく、重ねてお願ひ申し上げます。

●米国研究製薬工業協会(PhRMA)

PhRMAは、米国で事業を行なっている主要な研究開発志向型製薬企業とバイオテクノロジー企業を代表する団体です。加盟企業は新薬の発見・開発を通じて、患者さんがより長く、より健全で活動的に暮らせるよう、先頭に立って新しい治療法を探求しています。加盟企業の新薬研究開発に対する投資額は、2000年からの累計では6000億ドル以上に達し、2015年単独でも推定で588億ドルになりました。

●米国研究製薬工業協会(PhRMA)日本オフィス

PhRMA日本オフィスは、米国PhRMAの会員である研究開発志向の製薬企業の日本法人で構成されており、画期的新薬が開発できる環境や患者さん中心の医療制度の確立に向けて25年以上に渡って活動を続けています。加盟企業は、アステラス・アムジェン・バイオファーマ株式会社、アップル・バイオ・リサーチ株式会社、MSD株式会社、セルジーン株式会社、日本イーライリリー株式会社、バイオジェン・ジャパン株式会社、ファイザー株式会社、ブリストル・マイヤーズ・スクイブ株式会社、ムンディファーマ株式会社、ヤンセンファーマ株式会社(五十音順)の10社です。

-
-
-

PhRMA日本オフィスホームページ <http://www.phrma-jp.org>

PhRMAホームページ <http://www.phrma.org>

PhRMA日本オフィスFacebook <https://www.facebook.com/phrmajapanoffice>

【本件に関するお問い合わせ】

「第4回ヤング・サイエンティスト・シンポジウム」運営事務局
(株式会社ジャパン・カウンセラーズ内)

TEL:03-3291-0118

FAX:03-3291-0223

E-mail:yss2016@jc-inc.co.jp

第4回 ヤング・サイエンティスト・シンポジウム
あなたの研究が世界を変える
～基礎と臨床の架け橋 トランスレーショナルリサーチの未来～

日時:2016年12月1日(木)

第1部 ランチョンセミナー 11:55~12:45

第2部 フォーラム 18:15~20:15

会場:パシフィコ横浜 会議センター

主催:第39回日本分子生物学会年会・米国研究製薬工業協会(PhRMA)

後援:厚生労働省・独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)・国立研究開発法人日本医療研究開発機構
(AMED)・日本製薬工業協会(JPMA)・欧州製薬団体連合会(EFPIA)・一般財団法人バイオインダストリー協会

プログラム:

■第1部 ランチョンセミナー (対象:第39回日本分子生物学会年会の参加者の方)

モデレーター:井上 治久 京都大学iPS細胞研究所(CiRA)教授

講演:「トランスレーショナルリサーチ入門:研究が実用になるまで」

勝野 雅央 名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科 教授

■第2部 フォーラム (対象:どなたでもご参加いただけます。)

モデレーター:勝野 雅央 名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科 教授

岡田 潔 大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 講師

講演1):「Johnson & Johnson の海外におけるオープンイノベーションへの取り組みと日本におけるチャレンジ」

楠 淳 Director, New Ventures Japan, Asia Pacific Innovation Center, Johnson & Johnson INNOVATION

講演2):「AMEDにおける取り組みの紹介」

草間 真紀子 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED) 戦略推進部医薬品研究課 主幹

講演3):「アカデミアによる分子生物学の研究成果を創薬開発につなげる試み」

桑原 宏哉 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 脳神経病態学 特任助教

講演4):「ラボでの発見を社会価値につなげるプロセス」

河野 悠介 JITSUBO 株式会社 代表取締役

講演5):「医療開発研究を行う大学において必要な知財戦略」

石塙 正穂 札幌医科大学 医学部医科知的財産管理学 教授

パネルディスカッション:上記演者と参加者の皆様を交えたディスカッション

【参加お申し込みについて】

ヤング・サイエンティスト・シンポジウム公式ウェブサイト(<http://yss.umin.jp/>)をご覧ください。

第1部 ランチョンセミナー 11:55~12:45 対象:第39回日本分子生物学会年会の参加者の方(200名)

第2部 フォーラム 18:15~20:15 対象:どなたでもご参加いただけます。(300名・参加費無料)

以上

第4回 ヤング・サイエンティスト・シンポジウム

第39回 日本分子生物学会年会 共催企画

あなたの研究が世界を変える ～基礎と臨床の架け橋 トランスレーショナルリサーチの未来～

ヤング・サイエンティスト・シンポジウムは、米国研究製薬工業協会(PhRMA)が実施する創薬分野の人材育成プログラムの一つです。

第4回目となる今回は、第39回日本分子生物学会年会のプログラムの一つとして、ランチョンセミナー／フォーラムの2部構成で開催致します。

本シンポジウムを通じて、トランスレーショナルリサーチ(TR)のあり方を積極的にディスカッションし、今後のキャリアデザインの参考にできる場を提供すべく、TRのシーズ探索から臨床研究、さらには企業への導出など、第一線でご活躍されている方々の生の声をご紹介します。

日時

2016年12月1日(木)

ランチョンセミナー 11:55-12:45

フォーラム 18:15-20:15

場所

パシフィコ横浜 会議センター

主催

第39回日本分子生物学会年会
米国研究製薬工業協会(PhRMA)

参加申し込み方法

こちらからお申込み下さい▶

<http://yss.umin.jp>



事務局

第4回ヤング・サイエンティスト・シンポジウム事務局

株式会社ジャパン・カウンセラーズ内

T E L : 03-3291-0118

E-mail: yss2016@jc-inc.co.jp

PhRMA
RESEARCH • PROGRESS • HOPE

プログラム

PROGRAM

第1部

ランチョンセミナー

11:55-12:45

- モデレーター 井上 治久
京都大学iPS細胞研究所(CiRA)教授
- 講 演 トランスレーションナルリサーチ入門
:研究が実用になるまで
勝野 雅央
名古屋大学大学院医学系研究科
神経内科教授

後援

厚生労働省

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構(PMDA)

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)

日本製薬工業協会(JPMA)

欧州製薬団体連合会(EFPIA)

一般財団法人バイオインダストリー協会

第2部

フォーラム

18:15-20:15

- モデレーター 勝野 雅央 名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科教授
岡田 潔 大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 講師
- 講 演 1: **Johnson & Johnsonの海外における
オープンイノベーションへの取り組みと
日本におけるチャレンジ**
楠 淳 Director, New Ventures Japan, Asia Pacific Innovation Center,
Johnson & Johnson INNOVATION
- 講 演 2: **AMEDにおける取り組みの紹介**
草間 真紀子 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
戦略推進部医薬品研究課 主幹
- 講 演 3: **アカデミアによる分子生物学の研究成果を
創薬開発につなげる試み**
桑原 宏哉 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 脳神経病態学 特任助教
- 講 演 4: **ラボでの発見を社会価値につなげるプロセス**
河野 悠介 JITSUBO株式会社 代表取締役
- 講 演 5: **医療開発研究を行う大学において必要な知財戦略**
石塙 正穂 札幌医科大学 医学部医科知的財産管理学 教授
- 19:30-20:15 **パネルディスカッション**
上記演者と参加者の皆様を交えたディスカッション